

数 学 (45分)

1 次の①～⑤の計算をしなさい。⑥～⑩は指示に従って答えなさい。

① $4 - 7$

② $(-2) \times (-5)$

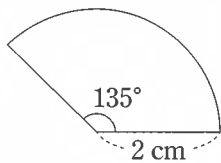
③ $2(3a + b) - (a - 2b)$

④ $12ab^2 \div 4ab$

⑤ $(\sqrt{2} + 3)(\sqrt{2} + 5)$

⑥ 方程式 $x^2 - 5x + 3 = 0$ を解きなさい。

⑦ 右の図のような、半径 2 cm、中心角 135° のおうぎ形がある。このおうぎ形の面積を求めなさい。

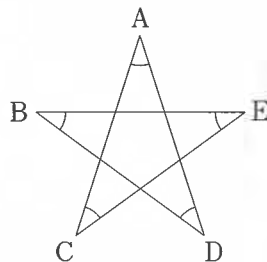


⑧ 3枚の硬貨を同時に投げるとき、少なくとも1枚は裏となる確率を求めなさい。

⑨ 同じ大きさの白玉だけがたくさん入っている袋がある。この袋の中に、白玉と同じ大きさの黒玉 50 個を入れ、よくかき混ぜた後、その中から 30 個の玉を無作為に抽出すると、黒玉が 5 個ふくまれていた。はじめに袋の中に入っていた白玉のおよその個数として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

- ア およそ 150 個 イ およそ 200 個
ウ およそ 250 個 エ およそ 300 個

⑩ 右の図のような、5点 A, B, C, D, E を直線で結んだ星形の図形がある。印をつけた 5 つの角の和を求めなさい。



2 ある中学校では、校庭の花壇に花の苗を植えることになり、花壇の広さを考えて、苗を 70 本買うことにした。1 本 50 円のビオラと 1 本 60 円のパンジーをそれぞれ何本か買い、代金の合計がちょうど 4000 円となるようにする。①, ②に答えなさい。

① ビオラを x 本、パンジーを y 本買うとして、連立方程式をつくりなさい。

② ビオラとパンジーをそれぞれ何本買えばよいかを求めなさい。

3 理恵さんは、A 4 判や B 4 判とよばれる大きさの長方形の紙について調べ、A 4 判の紙を利用して、B 4 判の紙の長辺の長さを 3 等分する方法について、太郎さんに次のような説明をした。①, ②に答えなさい。

<理恵さんの説明>

【A 4 判と B 4 判の紙について】

図 1 のように、A 4 判の紙を四角形 ABCD、B 4 判の紙を四角形 PQRS とする。 $AB : AD = 1 : \sqrt{2}$ 、 $PQ : PS = 1 : \sqrt{2}$ であり、四角形 ABCD と四角形 PQRS は相似比が $\sqrt{2} : \sqrt{3}$ の相似な長方形である。

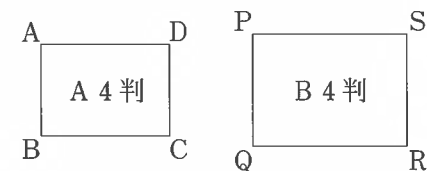


図 1

【B 4 判の紙の長辺の長さを 3 等分する方法】

(a) 線分 AC と線分 PS の長さは等しいから、図 2 のように、線分 AC と線分 PS を重ね合わせることができる。点 B から線分 PS に垂直な直線をひき、線分 PS との交点を H とする。このとき、直線 BH を折り目として線分 PQ を折り返し、直線 BH と線分 SR が重なるように折り返すと、(b) B 4 判の紙の長辺 PS を 3 等分することができる。

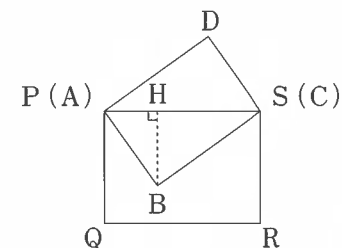


図 2

① 太郎さんは、下線部 (a) について、次のように確かめた。□(1)□, □(2)□ に適当な数を書き入れなさい。

図 1 において、 $AB = 1$ とする。

$AB : AD = 1 : \sqrt{2}$ だから、 $AD = \sqrt{2} AB$ よって、 $AD = \sqrt{2}$ となる。四角形 ABCD は長方形だから、 $AD = BC = \sqrt{2}$ である。

点 A と点 C を結んでできる $\triangle ABC$ は、 $\angle ABC = 90^\circ$ の直角三角形だから、

$AC = \square(1)\square$ である。

また、四角形 ABCD と四角形 PQRS の相似比は $\sqrt{2} : \sqrt{3}$ だから、

$PS = \square(2)\square AD$

よって、 $PS = \square(1)\square$ となり、 $AC = PS$ である。

② 太郎さんは、下線部 (b) について、次のように考えた。□(1)□ には適当な数を書き入れなさい。また、□(2)□ には PH の長さを求めて、<太郎さんの考え> を完成させなさい。ただし、□(2)□ は答えを求めるまでの過程も書きなさい。

<太郎さんの考え>

図 2 において、 $AB = 1$ とする。

$AB = PB = 1$ 、 $BC = BS = \sqrt{2}$ 、 $\angle ABC = \angle PBS = 90^\circ$ だから、 $\triangle PBS$ の面積は $\frac{\sqrt{2}}{2}$ である。よって、 $BH = \square(1)\square$ である。


$\triangle PBH$ は、 $\angle PHB = 90^\circ$ の直角三角形だから、三平方の定理により、

$\square(2)\square$

したがって、 $PH = \frac{1}{3} PS$ だから、直線 BH を折り目として線分 PQ を折り返し、直線 BH と線分 SR が重なるように折り返すと、B 4 判の紙の長辺の長さ PS を 3 等分することができる。

4

大輝さんは、2つの球が斜面を転がるようすを見たとき、2つの球の間の距離が自分の予想と違うことに気づいた。そこで、球が斜面を転がる時間と距離の関係について、大きさと重さが等しい赤球と青球を用いて次のように調べた。①、②に答えなさい。



図のように、斜面上のA地点に赤球を置き、静かに手をはなしたところ、赤球は手をはなすと同時に斜面に沿って転がり始めた。

A地点から赤球が転がり始めてからの時間 x (秒) と、その間に転がる距離 y (m) の関係は、表のようになり、 y は x の2乗に比例することが確かめられた。

また、青球でも同じ結果が得られた。

x	0	1	2	3	...
y	0	0.2	0.8	1.8	...

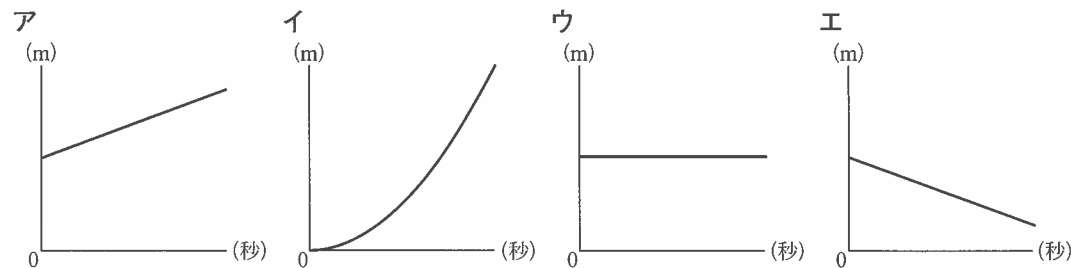
表

- ① y を x の式で表しなさい。
- ② 大輝さんは、A地点に赤球を置き、静かに手をはなした。次に、A地点に青球を置き、赤球が転がり始めてから5秒後に静かに手をはなした。このあと、時間とともに赤球と青球の間の距離がどのようになるかについて、大輝さんは次のように確かめた。(1)～(4)に答えなさい。

A地点から青球が転がり始めてからの時間が t (秒) のとき、A地点から赤球が転がり始めてからの時間は、 t を使って (秒) と表すことができる。このとき、赤球と青球の間の距離 (m) は、 t を使って

となる。A地点から青球が転がり始めてからの時間と、赤球と青球の間の距離の関係をグラフに表すと、赤球と青球の間の距離が ようすがよくわかった。

- (1) に適当な式を書き入れなさい。
- (2) に赤球と青球の間の距離を表す式を、計算して求めなさい。ただし、答えを求めるまでの過程も書きなさい。
- (3) 下線部の関係を表したグラフとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。ただし、横軸はA地点から青球が転がり始めてからの時間、縦軸は赤球と青球の間の距離を表す。



- (4) に当てはまることばとして最も適当なのは、ア～カのうちではどれですか。一つ答えなさい。

ア 毎秒2mずつ縮まる イ 常に2mで一定である ウ 毎秒2mずつ広がる
 エ 毎秒5mずつ縮まる オ 常に5mで一定である カ 毎秒5mずつ広がる

5

花子さんは、ある器の破片をもとに、もとの器の形状について、次のように模式化して考えた。①、②に答えなさい。ただし、器の厚さは考えないものとする。



器の破片

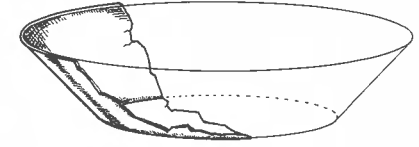


図1

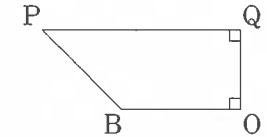


図2

図1は、器の破片から考えられるもとの器の形状である。これは、図2のような、 $\angle BOQ = \angle PQO = 90^\circ$ である台形PBOQを、辺OQを軸として1回転させてできる立体の形状に模式化できる。

図3は、器の破片を真上から見たときの、底の面の模式図である。もとの器の底の面は円であり、器の破片の底の面の円周上にあたる部分に3点A、B、Cをとり、それぞれを結んだ三角形から、この円の中心や直径などを求める。

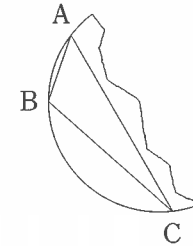


図3

- ① 図3の3点A、B、Cを通る円の中心Oを、定規とコンパスを使って作図しなさい。作図に使った線は消さないで残しておきなさい。
- ② 花子さんは、図3の3点A、B、Cを通る円Oの直径を次のように求め、もとの器の容積についても考えた。(1)、(2)に答えなさい。

図4は、図3の $\triangle ABC$ と3点A、B、Cを通る円Oである。円の中心Oと点Bを通る直線をひき、円Oとの交点のうち、点Bと異なる点をDとし、点Cと点Dを結ぶ。点Bから線分ACに垂直な直線をひき、線分ACとの交点をHとする。このとき、 $AB = 4$ cm、 $BC = 9$ cm、 $BH = 3$ cmであった。 $\triangle ABH \sim \triangle DBC$ だから、円Oの直径は cm である。さらに、図2において、 $OQ = 4$ cm、 $\angle PBO = 135^\circ$ であるとき、もとの器の容積は cm^3 である。

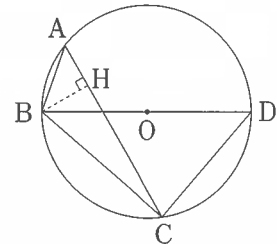


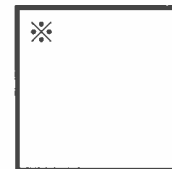
図4

- (1) 下線部の $\triangle ABH \sim \triangle DBC$ を証明しなさい。

- (2) , に適当な数を書き入れなさい。

受 検 番 号	(算用数字)	志 願 校	
------------	--------	-------------	--

解 答 用 紙



- 注意 1 答えに $\sqrt{\quad}$ が含まれるときは、 $\sqrt{\quad}$ をつけたままで答えなさい。また、 $\sqrt{\quad}$ の中の数は、できるだけ小さい自然数にしない。
 2 円周率は π を用いなさい。

1	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	$x =$
	⑦	(cm^2)
	⑧	
	⑨	
	⑩	($^\circ$)

2	①	<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
	②	

3	①(1)	
	①(2)	
	②(1)	
	②(2)	

4	①	$y =$
	②(1)	(秒)
	②(2)	
	②(3)	
②(4)		

5	①	
	②(1)	(証明)
	②(2) (あ)	(cm)
	②(2) (い)	(cm^3)